

議員派遣報告書（閲覧用）

平成30年1月25日

岐阜県議会議長 様

岐阜県議会議員 森 正弘 印岐阜県議会議員 佐藤 武彦 印岐阜県議会議員 水野 正敏 印岐阜県議会議員 若井 敦子 印

下記のとおり議員派遣業務が終了しましたので、報告します。

記

派遣目的	ベルギー・フランス・リトアニアでの岐阜県のPR活動と現地における経済・流通状況や観光事情の調査
行程表（別紙のとおり）	
派遣成果（詳細は別紙のとおり）	
日付	成果の概要
8月31日（木） ベルギー	ワーテルロー古戦場（ウェリントン博物館・ナポレオン最後の司令部博物館・MEMORIAL1815・パノラマ館・ライオンの丘・ウーグモン農場）を視察。歴史的資産である関ヶ原古戦場を観光拠点として有効活用していくうえで参考とするため、古戦場の保全管理、運営や活用方法について説明を受けた。 関ヶ原古戦場とワーテルロー古戦場の姉妹古戦場協定締結式に立ち会い、本締結を契機とした今後の両古戦場の更なる交流と魅力向上に向けた取り組みなどについて、古戦場関係者と意見交換を行った。
9月1日（金） ベルギー	在ベルギー日本国大使館を訪問。日・ベルギー間の経済関係（貿易・投資・進出日系企業等）について説明を受けた。また、ベルギーは日本にとって重要な貿易相手国であり、日本企業にとってビジネスチャンスの拡大が期待されるなど、今後に向けての意見交換を行った。 次に、欧州連合（EU）日本政府代表部を訪問し、EU組織の現状と課題（英国のEU離脱など）や日本外交の難しさとEUの重要性などについて説明を受け意見交換を行った。

	<p>最後に、JETROブリュッセル事務所では、近年のEUを取りまく諸課題と、日本企業のヨーロッパ市場参入について事例紹介を交えた説明を受け意見交換を行った。</p>
9月2日（土） フランス	<p>ベルギーからフランスへ移動。 GAS（グローバルアンテナショップ）候補店であり県産品のテストマーケティングを行っているセレクトショップ「Konjaku（今昔）」を視察。オーナーが熱心な方で、岐阜県産のこだわりの品々が、店内に魅力的に配置されていた。世界各国のGASが広告塔となり、県産品の知名度向上と販路拡大に期待が持てると感じた。</p>
9月3日（日） フランス	<p>県と友好交流先であるオ・ラン県で開催された「アルザスふれあいウォーク」に参加し、フランス・アルザス地方の美しい自然を楽しみながら、現地の人々と一緒に歩くことで友好交流を深めた。また、「ガストロノミーツーリズム」という旅行の形態が観光誘客に有効であり、岐阜県での普及を推進すべきであると実感した。</p>
9月4日（月） フランス	<p>JNTOパリ事務所を訪問し、インバウンド市場拡大の取組について説明を受けた。観光地におけるリピーターの確保や観光消費額の拡大が求められる中、本県が世界的な観光地として更なる成長を遂げるには、これまでの取組みに加え、効果的な魅力発信や新たな需要の取り込みが不可欠であるなど、意見交換を行った。</p> <p>次に、CLAIRパリ事務所を訪問し、グローバル化が進展する中、自治体においても海外との地域間連携、草の根交流による地域の活性化が重要であることについて、これまでの活動実績を交えて説明を受け、本県の地域の強みや特性を活かした海外自治体とのネットワークづくりについて意見交換を行った。</p> <p>その後、本県の地場産品を販売するセレクトショップL'embrasserを視察。美濃和紙の展示をはじめ、陶磁器や木工製品、美濃和紙製品などの県産品50品目の商品が陳列。オーナー夫妻と、県産品の魅力について意見交換を行った。店内には岐阜県の観光パンフレットも設置されており、観光情報発信にも協力をいただいている。岐阜県ならびに県産品の認知度とイメージの向上、本県の魅力発信に大いに期待できると感じた。</p> <p>続いて、レストランEtude（エチュード）飛騨牛海外推奨店銘板授与式に出席した。試食会では、現地の方と飛騨牛についての感想を聞き意見交換を行った。飛騨牛のブランド化、販路拡大に期待したい。</p> <p>最後に、日本へのクリエイティブな旅展（ユネスコJAPANウィーク）オープニングセレモニーに出席、本県の観光・文化のPRを行った。岐阜県を舞台としたアニメ映画のパネル展、日本遺産関連展示などが行われた。岐阜県展示ブースには、美濃和紙を使用した壁面装飾や、世界に誇る遺産が写真パネルでPR展示され、陶磁器などの地場産品も展示。実演では、来場者に飛騨牛の試食や地酒の試飲が行われた。観光地間の誘客競争が今後一層激しくなることが予想される中、このような観光誘客プロモーションは、本県のイメージ向上に繋がり、世界に選ばれる観光地域となるために大変有効なイベントであった。</p>
9月5日（火）	移動日（フランス→リトアニア）

<p>9月6日（水） リトアニア</p>	<p>今でも杉原千畝氏の功績が息づいているカウナス市、杉原千畝ルート・杉原記念館を視察。</p> <p>杉原千畝ルートは、カウナス市内の杉原千畝ゆかりの施設（杉原記念館、カウナス鉄道駅、ホテルメトロポリス）を巡る観光ルートであり、カウナス市はルートPRのため、昨年日本語の観光パンフレットを作成。杉原記念館は、第二次世界大戦中、当時のリトアニアの首都がおかれていたカウナスで、杉原千畝氏が領事館代理として任務にあたっていた旧日本領事館。</p> <p>視察後、杉原千畝氏の功績を改めて見直し、日本・リトアニア・ユダヤ関係者の連携強化を図ることを趣旨として開催された「杉原シンポジウム」に出席。古田知事が基調講演をされ、パネルディスカッションでは金子政則八百津町長が「杉原千畝がつないだカウナス市との友好交流」について発表された。本県が誇る杉原千畝氏の偉大な功績に敬意を表し、後世に受け継ぐために今後どのように顕彰していくかなどを考える機会となった。</p> <p>カウナス市長主催の音楽コンサート・レセプションに出席。杉原千畝氏を契機とした、リトアニア・カウナス市との更なる交流推進を図った。</p>
<p>9月7日（木） リトアニア</p>	<p>杉原千畝氏の功績をたたえるモニュメントが設置されている杉原桜公園を視察。その後、前庭に杉原千畝氏に捧げられたモニュメント「月光」が設置されている国立ユダヤ博物館を視察した。ビリニュス市内のあらゆるところに、今でも杉原千畝氏の功績が息づいていることに尊敬の念を抱いた。</p>

<p>県政に活用できる事項</p>	
<p>県担当課</p>	<p>内 容</p>
<p>観光企画課</p>	<p>関ヶ原古戦場を拠点とした観光誘客に関すること</p>
<p>農産物流通課</p>	<p>飛騨牛のブランド化と海外流通に関すること</p>
<p>海外戦略推進課</p>	<p>杉原千畝氏の功績を通じた国際交流に関すること</p>
<p>地域産業課</p>	<p>地場産品の海外販路拡大に関すること</p>
<p>環境企画課</p>	<p>ガストロノミーツーリズムに関すること</p>
<p>収集資料（別添のとおり）</p>	